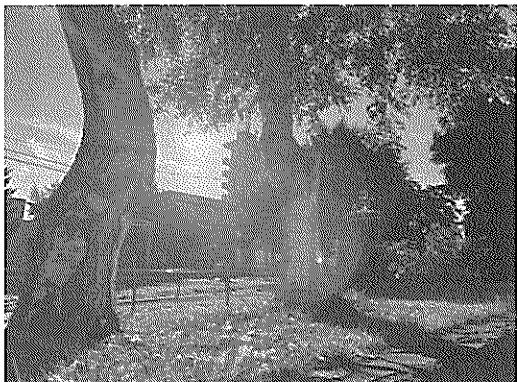


前田連町世帯数  
(令和6年1月31日現在)  
16町内会  
世帯数 5,198世帯

# まえだ

令和6年1月  
第66号

発行  
前田連合町内会広報部



特別賞「キラキラしている公園」  
瀧井隆司さん 撮影場所：前田トマト公園



最優秀賞「手稲山に続く桜道」新沼花恋さん(撮影場所：旧軽川)



特別賞「今年も軽川に帰ってきた鮭」  
齋藤翔太さん(撮影場所：軽川)

第四回前田まちのお宝写真コンテストの入賞作品の中から審査員の得票の多かった三點を紹介します。年々応募が増えていています。次回にも益々期待が高まっています。

コロナ禍による長い閉塞期間がありましたが、昨年五月コロナ感染症が五類指定となり、様々な行事が再開されました。令和五年は当連合町内会の創立五周年の佳節となり、なんと言つても四年振りに再開出来た「前田ふれあいまつり」は嬉しい限りです。皆さんの力を結集し、特に若いメンバーの参画・パワーに大きな勇気を頂きました。五千名を超える来場者の盛況は忘れることができません。

春の花街道の植栽、八月の北海道マラソン給水ボランティアへの九十名の参加、町内会親睦パークゴルフ大会等各部の行事も実施出来ました。

前田連町もご多分に漏れず高齢化が進んでいますが、この一年の経験を力に、高齢者の経験・見識と若い皆さんのパワー・智恵を合わせて、次の五十年へスタートして参りたいと思ひます。

伸びに、本年が皆様にとって良いお年でありますよう、又ご一家の皆様のご健勝ご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせて頂きます。

八月五日（土）第二十五回前田ふれあいまつり

八月二十一日（木）・二十九日（土）・三十日（日）胃・大腸・肺がん検診

八月二十二日（火）北海道町内会明けましておめでとうございま

す。

九月二十一日（木）・三十日（土）秋の交通安全市民総ぐるみ運動

二十一日（木）セーフティコロール

九月三十一日（土）前田連町第十五回町内会対抗親睦パークゴルフ大会

\* \* \*

九月二十二日（水）前田連町四役会

九月二十三日（木）前田まちのお宝活用事業（小学生写真教室）

九月二十九日（水）前田連町内会連絡協議会会長等研修会

十月十六日（月）ノルディックウォーキング

十月二十一日（水）前田連町四役会

十月二十二日（木）前田連町内会連絡協議会会長等研修会

十月二十九日（木）前田連町第五回定例理事会

\* \* \*

八月五日（土）第二十五回前田ふれあいまつり

八月二十一日（木）・二十九日（土）・三十日（日）胃・大腸・肺がん検診

八月二十二日（火）北海道町内会明けましておめでとうございま

す。



前田連合町内会  
会長 山岸 裕

八月五日（土）第二十五回前田ふれあいまつり

八月二十一日（木）・二十九日（土）・三十日（日）胃・大腸・肺がん検診

八月二十二日（火）北海道町内会明けましておめでとうございま

す。

八月二十一日（木）前田連町四役会

八月二十二日（水）前田連町内会連絡協議会会長等研修会

十月十九日（木）前田連町第五回定例理事会

\* \* \*

八月二十一日（木）前田連町四役会

八月二十二日（水）前田連町内会連絡協議会会長等研修会

十月十九日（木）前田連町第五回





# 前田連合町内会創立50周年記念式典が開催される

令和5年11月25日 前田連合町内会 創立50周年記念式典が開催される

会長式辞

山 岸 榎

本日は前田連合町内会創立五十周年記念式典に、皆様週末・月末の何かとご多用のことろ、又寒さ厳しい中ご出席頂き誠に有難うございます。そして公私ともご多繁の中、ご出席頂きました手稲区長高久政行様はじめご来賓の皆様大変に有難うございます。

半世紀という五十周年の佳節を、本日は当前田連合町内会を担当いただいております役員・理事の皆様、各町内会の代表の皆様、前田連合町内会の功労者の皆様、前田会館関係者の皆様、そしてご出席いただきましたご来賓の皆様と共に祝いできることを、心から嬉しく存じます。これもひとえにご出席の皆様はじめ、多くの会員、先人の皆々様の言い尽くせぬご苦労、ご尽力、ご高配のお陰と衷心より感謝御礼申し上げます。

ご案内のとおり前田連合町内会は、昭和四十八年四月、八町内会四五〇世帯でスタート致しました。以来五十星霜、手稲区の発展とともに現在は十六町内会五、一九〇世帯人口約一九、八〇〇人を擁する連町に発展いたしました。本来であればこの式典も、大きなホテルなどで盛大に行うところをございますが、先人にはどんな基盤を作つて頂きましたので、華やかに実施するのはおこがましいということでおこがましくおこなうござさやかに行わせて頂きました。

後々に残るものと五十周年記念誌を作成を目指しております。なおこの五十年誌にこ多忙の中、暖かい励ましの言葉をお寄せくださいました高久区長、平川会長、竹内理事長はじめ、ご寄稿いただいた皆様にこの席をお借りして、心より感謝御礼申し上げます。先程申し上げましたように、前田連町の誕生は昭和四八年四月ということで令和五年度は誕生五十周年に当たりますので、「前田ふれあいまつり」はじめいくつかの行事で「創立五十周年記念」の冠をつけさせて頂いてお

ります。

余談になりますが、誕生日についてある書籍に、こんな話が紹介されていました。現在は個人の誕生日を祝うことは日常的になつてますが、以前の日本は年齢を数え年で数えていたので、元旦にまとめてお祝いをしていました。昭和二十四年に「年齢のとなえたそです。昭和二十四年に「年齢のとなえ方にに関する法律」が制定され、それ以降個人の誕生日を満年齢祝う形が定着したとされています。

個人に限らず企業・団体においても創立の記念日を祝う周年行事があります。その節目を祝う意義として三つ挙げられています。  
①事業の継続発展を祝う  
②過去への感謝を深める  
③未来への決意を新たにする

これに則り三つを再確認したいと思います。  
①事業の継続発展を祝う  
②過去への感謝を深める  
③未来への決意を新たにする

前田連合町内会として各町内会はこれからも力を合わせて会員の皆様の力となり、頼りになるよき存在となつていただきたい。

②過去への感謝を深め、私たちの現在の役割を果たしていく。

③未来への決意を新たにする

これが一番大事です。五十年記念誌にも書かせて頂きましたが、各町内会は立地条件、住居形式、世帯数など異なっています。町内会ごとの取組み、工夫が必要です。そのうえで近年の災害の多発・甚大化に鑑み連町規模の取組みが必要です。これらの懸念について札幌市・手稲区など行政も町内会条例を制定し私どもに大きな支援を寄せて頂いております。

自助・共助・公助の連携が大きな力となります。

そしてデジタル化の日進月歩の現代にあって、若い世代の柔軟な頭脳とパワー、年配者の経験見識がうまく組み合わされれば、大きな力となることを確信いたしました。

結びに皆様の益々のご健勝・ご活躍をお祈りしご挨拶とさせて頂きます。

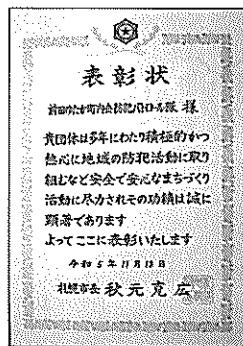


式典のトータルプロデュースをした役員の皆さん

来賓にお酌をする役員の皆さん

宴は紅白幕の幕の内





## 各町内会の計画・話題・課題など

安らぎ安全の取り組み・活動などを紹介します

### 前田ゆたか町内会

○「前田ゆたか町内会防犯パトロール隊」が、札幌市より表彰を受け

る

前田ゆたか町内会防犯パトロール隊が、札幌市より表彰を受けました。前田ゆたか町内会防犯パトロール隊が、この度札幌市より、安全安心なまちづくり功労者として、団体部門の表彰を受けました。十一月十日（金）札幌市役所本庁舎で表彰式が行われ、町内会防災防犯部長の北條康一氏が、秋元市長から表彰状を受け取りました。同隊は平成十八年に結成され、以来十七年間月二回、町内全域をパトロール。防災防犯に努めています。

現在は、副会長の南幸治氏を隊長として、防災防犯部を中心に、町内会役員十二名が担当し実施しています。

創生期が実感出来ました。また公園の遊具の造成や、特に冬期の生活道路の除雪問題が一番の難題でした。吹雪で車を元の西友駐車場あたりに止め腰まで埋まり歩いて帰り、翌朝スコップで車を掘り出すこともしばしばと、今では考えることが出

命和五年度

### 前田ゆたか東町内会

○我町の創生期を顧みる

前田連合町内会五十周年記念誌の原稿執筆の際に、参考資料として十年・二十年・三十周年記念誌がありました。その中で、私の町内会活動の始まりが連町主催のソフトボール大会の事でした。大変に懐かしい思い出になりました。この度は、創生期を資料を元に書き出します。

結成時は三十戸から昭和五十二年九月に八十七戸で発足し、連合町内会に十番目の加盟となりました。緑豊かな宮田牧場が手稲地区の発展に伴い五百戸の団地に造成され、「緑をはぎ取られた様相は、砂塵舞い上がり、マカロニウエスタンの荒野の用心棒のワンシーンの様でした」と、平間征太郎初代会長の記述があり、正に

災害に備え、家族での話し合い、町内会での防災意識の醸成に引き続き努める所存である。

前田わらび北町内会

○防災は人づくりから

昨年も台風・線状降水帯による大雨・大雪・地震・火災などにより、尊い人命・財産が失われている。自然災害には、人間の知恵・技術などを超えてしまい無力感に陥ることもあり、まさに自然災害の恐ろしさを

思ひ知らされることになる。町内会および連合町内会では、防災意識の醸成のために、行政と連携して研修会や施設見学を実施しており、防災意識は年々普及し浸透つつあると思っている。「遠くの親戚より近くの他人」ということわざがあるように、災害が発生すれば否が応でも町内会の力が必要になってくる。町内会だけでは防災および災害復旧には限界があり、連合町内会との連携が必要であり、関係する行政との連携も必要である。その力を發揮するためには、日頃からの町内会における地域づくりが大切であると考えて

います。子ども・高齢者の見守り、子育てと高齢者の世代間交流等、「遠くの親戚より近くの他人」よろしく、共助で住み良いまちづくりの礎のひとつとなる行事として継続できればと存じます。

会館にて、子ども十九名を含む総勢四十八名でクリスマス会を催しました。

会員の世代交代も進み、三世代の交流を目的に、従来の子ども会主催に加え、シルバー部、厚生部も共催して、広く会員に呼び掛けたところ、多数のご参加をいただきました。

各世代を混ぜ二手に分かれての輪投げ、ダーツ等のゲーム、軽食・プレゼント交換等で参加者一同世代を超えて、笑顔が溢れる時間を共有することができました。参加した小学生は「本当のおじいちゃん、おばあちゃんみたいに遊べて楽しかった!」との感想でした。子どもを通じた楽しい交流行事で、お互いの距離が縮まり、顔見知りとなることができたかと思います。

会員による手作りのダンボールフレスピーやボウリング、ストラックボールなどのゲームで一生懸命に遊びました。最後に、bingoゲームの景品としてクリスマスプレゼント、クリスマスケーキを配ることで子ども達の笑顔が溢れ、年度内としては最後の子供会主催のイベントとなりました。

会員による手作りのダンボールフレスピーやボウリング、ストラックボールなどのゲームで一生懸命に遊びました。最後に、bingoゲームの景品としてクリスマスプレゼント、クリスマスケーキを配ることで子ども達の笑顔が溢れ、年度内としては最後の子供会主催のイベントとなりました。

会員による手作りのダンボールフレスピーやボウリング、ストラックボールなどのゲームで一生懸命に遊びました。最後に、bingoゲームの景品としてクリスマスプレゼント、クリスマスケーキを配ることで子ども達の笑顔が溢れ、年度内としては最後の子供会主催のイベントとなりました。

前田南平台町内会

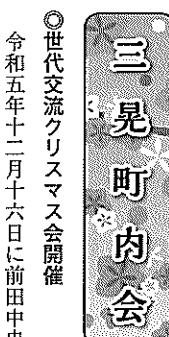
○クリスマスパーティーを開催

十二月一日、子供会主催にて十六名の子ども達が参加のもとクリスマスパーティーを開催しました。子供

会員による手作りのダンボールフレスピーやボウリング、ストラックボールなどのゲームで一生懸命に遊びました。最後に、bingoゲームの景品としてクリスマスプレゼント、クリスマスケーキを配ることで子ども達の笑顔が溢れ、年度内としては最後の子供会主催のイベントとなりました。

会員による手作りのダンボールフレスピーやボウリング、ストラックボールなどのゲームで一生懸命に遊びました。最後に、bingoゲームの景品としてクリスマスプレゼント、クリスマスケーキを配ることで子ども達の笑顔が溢れ、年度内としては最後の子供会主催のイベントとなりました。

会員による手作りのダンボールフレスピーやボウリング、ストラックボールなどのゲームで一生懸命に遊びました。最後に、bingoゲームの景品としてクリスマスプレゼント、クリスマスケーキを配ることで子ども達の笑顔が溢れ、年度内としては最後の子供会主催のイベントとなりました。



○世代交流クリスマス会開催  
令和五年十二月十六日に前田中央



クリスマス会（2023年12月16日）



クリスマス会（2023年12月2日）

前田西第二町内会

ました。前年度定例役員会で、時節柄祝賀会は実施せず、記念品を全戸に配布し、記念誌を発行するという五十周年事業としました。

コロナ禍明けの最初の行事となつた果物狩りでしたが、久々に伸び伸びとした雰囲気で会員の交流が図ら

年ぶりに実施しました。  
今年度の内容は果物狩りで、十月  
一日朝、町内の公園に六十一名が集  
合し、二台のバスに分乗して仁木の  
「さくらんぼ山」に向かいました。  
到着するとすぐに果物狩りがはじ  
まり、代表的なぶどうのキャンベル  
やナイヤガラのほか、あの高価な  
シャインマスカットをはじめとする  
十数種類のぶどうや、数種類のリン  
ゴ、ブルーインも食べ放題で、参加者  
みな満喫された様子でした。

◎四年ぶりに果物狩りを満喫  
コロナ禍により中止が続いていた  
年中行事の「日帰りバス旅行」を四  
年ぶりに実施しました。

シーアイ町内会

記念誌はすでに十二・十三年誌が発行されており、これらを参考に

会と楽しみ満載でした。会場いっぱいに笑顔と歓声があふれ、親交を深

お陰様で現在まで順調に推移しております。

ほ  
まれ  
町  
内  
会

念説から感じたのではないで、残念なのは、原稿を各班に一文を課して文章編を充実できなかつたことです。次回に期待です。

これからも当町内会が存続し、住み良い町内であるように願つています。

この月には用意した記念品と記念誌を前、後期の班長が各戸に配布しました。まさに町内会員の理解と協力をもって進めたことのできた事業でありました。五十年の経過は当然会員の転出があり、物故者も出ていましたが、二世・三世が住み続け、また新しく転入の方々も、その活動から

会と楽しみ満載でした。会場いっぱいに笑顔と歓声があふれ、親交を深めることができました。更にこの中で若いお母さんが生後十三ヶ月の赤ちゃんを抱いて参加しました。その赤ちゃんは天使の笑顔で全ての人の心をほっこりさせてくれました。またこれまで常連であった人の顔が減ったこれまで常連であった人の顔が減った

お陰様で現在まで順調に推移しております。事業では、新型コロナが5類に移行されたのを受け、かねて準備してきたバーベキュウ大会を開催することができました。当日は雨模様でしたが、多くの方が出席され楽しい時間をお過ごすことが出来ました。

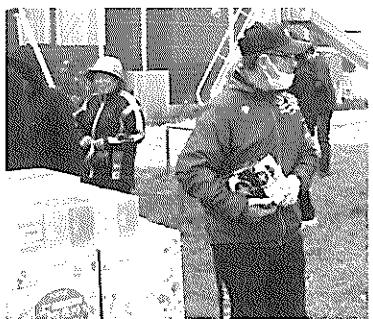
前田第一町内会

今年度の最大の課題は、女性部、防火防犯交通部を除き各部の部長のなり手がないという問題でした。しかし各班長さんに兼務をお願いすることにしてスタートしましたが、

ることにしてスタートしましたが、



## 大勢でぎわう焼肉会場



ビール賞が当たってご満悦

子供ブースもできました

ラ・スガーラン手稿町内会

平成六年度は平常の予算で事業を進め、町内の活性化を進めてまいります。役員一同、来年も元気で頑張りましょう。

新型コロナ感染症の取り扱いが二類から五類に変更され、日常生活に制約がなくなり一安心ですが、あらゆる物価が上昇し、暮らし向きは厳

## まえだ

しさを増しています。

しかし大事を取つて今年度の町内全体親睦会、各種交流会は中止をさせていただきました。

ただでさえ人間関係が希薄になりがちな世の中、来年は是非開催したいものです。

その中で令和五年度の町内会定期総会を四月二十一日(土)に三密を回避しながら開催しました。事業計画、予算案などを立案し町内会会員の承認を得る事が出来ました。

また五月二十七日(土)には花壇に花を植えました。子ども達も参加しマリーゴールドを五十株ほど植えささやかな時間ではありましたが交流が出来たと思います。

町内会に必要なのは、普段から周りの人達との人間関係を作ることだと思います。

## ◎町内会で力を入れている活動

一一〇世帯が十の班に分かれています。そして班ごとにグループラインを作成しています。役員と今年度の班長十人のグループラインもあり、そこで決定した事や、三ヶ月に一回行われる会議で話し合った事などを各グループラインで共有しています。また、会費やパートナーシップの徴収を行う際、グループライン内で日程の調整をし、家に徴収を行ったのに不在だった、などの行き

違いを無くす事で班長の負担を減らす事ができます。回覧板を出す際には、グループラインで「回覧板を出したので見たら早めに次の方へ回して下さい」と一言流す事でスマートに行う事が出来ています。今

す事ができます。仕事や子育てで忙しい方が多いので少しでも樂に活動できるよう、努力していきます。

後、回覧板はデジタル化に移行を考  
えています。仕事や子育てで忙しい  
方が多いので少しでも樂に活動でき  
るよう、努力していきます。

## 顕彰

## 計報

「三見町内会」  
ラジオ体操会『三十三年』

町内で三十二年間の長い期間活動している「前田三見ラジオ体操会」について紹介します。

平成三年(一九九一年)より、当体操会は、町内の「三見ぼうけん公園」を会場に、五月より十月まで毎朝実施しています。

参加者は、町内の方のみならず、近隣ご町内の方、遠くは手稲駅近くからいらしている方も含め、老若男女+ワンちゃんの五十名前後となっています。

体操前のお互い笑顔の挨拶からはじまり、「みんなの体操」十五分間ご自身のベースに合わせ、朝日を浴びながら身体を動かして、体調の維持に生かされています。

令和五年シーズン終了時点  
で、当体操会開始からの延べ参  
加者は、手稲区人口より多い



令和五年十一月二十五日(土)前田連合町内会創立五十周年記念式典が前田会館で開催され、席上四名の方に連町功労者として山岸会長より感謝状と記念品が授与されました。

【前田連合町内会功労者表彰】

平田 東助様(第九代連町会長)  
笠瀬 吉弘様(第十代連町会長)  
古田 元彦様(元連町副会長)  
泉川 照雄様(元連町広報理事)

田連町功労者として山岸会長より感謝状と記念品が授与されました。

令和五年十一月二十六日逝去されました。享年八十五歳でした。

平田様は平成二十一年から二年間、連町会長、そしてそれ以前も同部会長を五年間務められました。そして四季彩の街町内会会長も十三年間務められました。そして四季彩の街町内会会長として尽力されました。退任後も広報「まえだ」に毎回短歌を寄稿されておられました。衷心よりお悔やみ申し上げ、「冥福をお祈り申し上げます。



前田連合町内会創立50周年記念式典



前田連合町内会創立50周年記念式典

## 編集記

いよいよ辰年が始まりました。この干支の年は、人々の頭のどこかに異色のイメージがあり、「今年こそは」と思っている方も多いと思います。町内会活動も同じで、「ローナ禍での自粛から脱して再開を考えておられる事業も多くなるのではないしょうか。連町も昨年は、ふれあい祭り、五十周年記念式典など大型事業を実施しました。

これらの事実はきっと各町の活動にも勇気を与える影響が及ぶのではないかと思つた。なんといつても人に会い、顔を知り、名前を知らなければ町内会活動は始まりませんから。(木下)